



メタボと  
判定されて

二口 奎吾さん  
(姥屋敷)

メタボ解消のため自宅周辺の散歩(ウォーキング)をすることにした。車道との境が白ペンキだけなので車との接触や人を避けた車がセンターラインを越えて反対車線に出ることにより事故の可能性も考えられる。したがって歩道部分を散歩することは危険が伴うので不適切である。安心安全に健康づくりが出来る公園が必要ではないだろうか。

- Q 市町村医師養成事業の実績状況は。  
A 岩手県国民健康保険団体連合会へ負担金を納付することにより、将来県立病院及び市町村立病院等の業務に従事しようとする者に対して修学資金の貸し付けを行う事業で、実績は8名です。
- Q 国民健康保険税の収納率が低い要因は。  
A 昨今の経済不況による減収が大きな要因として挙げられます。
- Q どの程度の納税相談があったか。  
A 納税相談に来られる方は、国民健康保険税を含めて、月に40人から50人ぐらいです。

## 健康・福祉の充実

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 基本健康診査事業 …………… 2,277万円
- 介護給付・訓練等給付費支給事業 3億856万円
- 福祉システム導入事業 …………… 3,641万円
- 予防接種事業 …………… 4,463万円
- 妊婦乳幼児個別健康診査事業 …… 2,347万円
- 放課後児童健全育成事業 …………… 7,058万円
- 児童環境づくり基盤整備事業 …… 2,994万円



きめ細やかな  
道路整備を

古舘 幸雄さん  
(鶴飼)

滝沢村は団地が多くあり、団地内の道路は整備されていますが、そこへのアクセス道が未整備の場合が見られます。チグハグな感じがいたしますので、住民生活に密着した道路整備を促進し、それらの解消に努めていただきたい。

- Q 交通指導員設置事業の現在の指導員数と指導員になるための条件は。  
A 20年度は27名でしたが、2年任期ということで、現在は定員35名に対して22名です。各自治会からの推薦で、条件として任命時に65歳を超えないという形をお願いしています。
- Q 自主防災組織育成事業で自主防災の取り組み状況は。  
A 20年度までは27自治会中17自治会でしたが、現在は2自治会増えて19自治会で組織されています。
- Q 過去に例を見ない水道事業の有収率93.8%の要因は。  
A 有収率については、17、18、19年度の漏水対策事業の成果が20年度にあらわれたということです。

## 社会基盤・環境の整備

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 防犯交通安全対策事業 …………… 153万円
- 溶融施設管理運営事業 …………… 6億3,553万円
- ごみ減量等住民運動支援事業 …… 6,962万円
- デジタルディバイド解消事業 3億4,654万円
- 村道維持管理事業 …………… 1億1,001万円
- 村道除排雪事業 …………… 1億6,320万円
- 下水道整備事業 …………… 3億1,888万円

## 教育・生涯学習の推進

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 学力向上・指導力向上事業 …………… 326万円
- 小学校校舎等耐震補強事業 …………… 1,989万円
- 不登校児童生徒解消対策事業 …………… 42万円
- 文化財・天然記念物保護事業 …………… 610万円
- 児童図書室整備事業 …………… 684万円
- 競技スポーツ推進事業 …………… 3,854万円
- 学校給食事業 …………… 3億4,514万円

- Q 学校保健事業で学校へのAEDの設置状況は。  
A 19年度に4つの小中学校に部分導入をして、20年度からはすべての小中学校にレンタルで設置しました。
- Q 伝統文化支援事業費の内訳は。  
A 6団体が加盟している郷土芸能保存団体協議会に郷土芸能発表開催委託料として60万円です。篠木神楽保存会補助金として10万円、さんさ踊り保存会へ9万円、大沢田植踊り保存会へ6万8千円の合計85万8千円です。
- Q 学校給食センター運営委員会事務費での運営委員会の実態は。  
A 委員構成は小中学校長、小中PTA代表、民生児童委員の代表の方です。21名以内ですが、現在は19名の委員で活動しています。



手話を  
もっと身近に

赤澤 恵美さん  
(土沢)

子どもが通う保育園では、『手話のできる先生』がいたので、園児も自然に覚え行事等の時に年長組が手話を披露していました。それが伝統として受け継がれていましたが、その先生がいなくなり四年間で終わってしまいとても残念に思います。子どもの頃から覚えていると、いつ・どんな時に役立つかわかりません。多くの子どもたちに、もっと手話を広めてほしいと思います。

## 産業・観光の振興

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 地域職業相談室管理運営事業 …………… 542万円
- 企業誘致事業 …………… 149万円
- (仮称)滝沢村I P Uイノベーションセンター建設事業 …………… 2億3,551万円
- (仮称)たきざわ自然情報センター建設事業 …………… 1,880万円
- 担い手支援育成補助事業 …………… 1,166万円
- 相の沢牧野管理 …………… 3,281万円

- Q 滝沢村地域職業相談室で求人等の手続きができるか。  
A 現在も盛岡のハローワークでないと登録できないような状況です。
- Q 地産地消推進事業の事業内容は。  
A 村の農産物を地域で使っていただくという事業で、農家の方と地域の方が集まり3月に「食育推進のつどい」を開き農産物の試食、農業、食生活についての講演会を開いて交流を深めています。
- Q たきざわ自然情報センターの管理運営事業で当初計画より規模縮小したが事業運営に支障はないか。  
A 当初29.5坪から22坪になりましたが、管理運営上については支障を来していません。小さいながらも工夫しながら運営しています。



魅力ある  
滝沢村を全国に

佐々良 晋さん  
(菓子)

滝沢村には、素晴らしい自然と自慢できる特産品がいっぱいあります。この恵まれた土地で作られた作物や地元の特産品を、何とかみなさんに知っていただける場があればと思います。そして、魅力あふれる滝沢村を全国に向けて発信する場所として、また、観光スポットの一つとして、主要道路に『道の駅』のようなものがあればと思っています。